

## 第16回 南砺の地域包括医療・ケアを守り育てる会を終えて

南砺の地域包括医療・ケアを守り育てる会

会長 山城清二（富山大学附属病院総合診療部）



守り育てる会 山城会長

去る7月26日に第16回南砺の地域包括医療・ケアを守り育てる会を開催いたしました。今回から守り育てる会の取り組みが6年目を迎えるにあたり、会の名称の一部を“地域医療”から“地域包括医療・ケア”へ変更し、住民と多職種が協働で地域包括ケアシステムを作り上げる会を目指すことになりました。新たな5か年計画（全体では10か年計画）に取り組む最初の会として、厚労省の椎葉茂樹先生をお呼びし国の地域包括ケアの方向性について講演していただきました。

椎葉茂樹先生は、平成16年から平成20年まで富山県厚生部に勤務し、平成19年には厚生部長として富山県全体の保健医療行政に関わっておられました。その後、本庁に戻り環境省、厚労省の要職に就き、平成26年7月から厚労省大臣官房厚生科学課長に就任し、本庁の医務官の人事を一手に統括する重要な役職についておられます。今回、これまでの厚労省での経験から、「わが国における予防を含めた地域包括ケアの方向性と南砺市に期待すること」というテーマでお話していただきました。講演の要旨を下記のようにまとめました。

要旨：

生活習慣病の医療費に占める割合は3割、死亡者数は約6割となっている。従って、生活習慣病への対策が重要である。また、急速な高齢化が進み、国も地方も一緒にその対策に乗り出さなければならない。さらに、介護が必要になった要因は生活習慣病が3割、認知症や高齢による衰弱、関節疾患および骨折・転倒で5割である。死因リスクとして、喫煙、高血圧、運動不足、高血糖の順になっており、特に禁煙と運動対策が必要である。



厚生労働省 椎葉課長

### 1. 健康日本21（メタボとロコモ）

- ・国の健康づくり対策として、平成21年より第1次健康日本21が策定され、平成25年からは第1次健康日本21が始まった。
- ・第1次は、9分野からなる目標設定がされた：①栄養・食生活、②身体活動・運動、③休養・こころの健康づくり、④たばこ、⑤アルコール、⑥歯の健康、⑦糖尿病、⑧循環器病（脳卒中を含む）、⑨がん。
- ・第2次では、5つの方向性が示された。①健康寿命の延伸と健康格差の縮小、②生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底、③社会生活を営むために必要な機能の維持および向上、④健康を支え、守るための社会環境の整備、⑤生活習慣病および社会環境の改善。
- ・健康寿命の延伸の取り組みは、各地域で補助金を期待せず自主的に取り組んでほしい。
- ・平均寿命と健康寿命の差は、男性で9.13歳、女性では12.68歳である。
- ・メタボからロコモ、認知度向上へ。ロコモティブシンドローム（運動器症候群）は運動器の障害のために自立度が低下し、介護が必要となる危険性が高い状態をいい、第2次健康日本21では、ロコモの認知度を上げて、その対策に乗り出す。例えば、ロコモの街づくりなど、地域包括ケアを楽しくやると面白いと思う。

## 2. がん対策

- ・女性は若い時に乳がんとうちけいがんが多いが、高齢になると男女とも様々ながんが増える。地域包括ケアでは、がん対策についても取り組んでほしい。
- ・がん対策は国の重要課題であり、平成 26 年からは小児がん、がんの教育・普及啓発およびがん患者の就労を含めた社会的な問題に対する対策が決まった。さらに、緩和ケアの推進も重要な課題となった。
- ・がん検診受診率が国際比較では日本が低い、一般受診のついでに検診を行っている場合が多いので一概に悪いとも言えない。
- ・がん登録推進法により、がんの罹患率や治療について「見える化」できるようになる。

## 3. 特定健診・特定保健指導

- ・特定健診の結果、糖尿病の予備軍が減少していることが示された。従って、受診率の向上が大事である。

## 4. 健康づくり大キャンペーン

- ・いきいき健康大使：三浦雄一郎氏（プロスキーヤー）、有森裕子氏（マラソンランナー）、平原綾香氏（歌手）
- ・スマート・ライフ・プロジェクト：3つのアクション、Walk（運動）、Eat（野菜摂取など）、Breath（禁煙など）
- ・健康寿命をのぼそう！アワード：優良モデル事例の発掘と周知。データが重要。



講演を熱心に聞き入る参加者

## 5. 南砺市に期待すること（10年前の講演スライドから）

- ① 新しいお国自慢
- ② 新しい地域づくり
- ③ 新しい人づくり

これに対して、これまでの地域医療再生マイスター養成講座（人材育成）、南砺の地域医療を守り育てる会（地域医療づくり）、住民と医療職および行政が協働で取り組む南砺市モデル（お国自慢）で10年前の期待に応えつつある。

以上がまとめです。

10年前に椎葉先生が南砺市民病院で講演された「南砺市に期待すること3項目」をほぼ達成しつつあることに驚きとともに嬉しくなりました。これは、南先生を中心に南砺市の皆様の活動の成果であると思います。地道な活動が実を結びつつあることを実感するとますます元気になり、次の5か年計画への取り組みの励みになりました。椎葉先生が中央から地方の南砺市を応援していることに感謝して、我々は今後もとどまることなく理想の地域包括ケアシステムの構築を目指して取り組んでいきましょう。



活動グループによる発表

### 活動報告：

1. 高齢者保健福祉計画（高坂さん）
2. 地域包括支援センター（森田さん）
3. なんと住民マイスターの会（武部さん）
4. ナースプラクティショナー的ナース養成講座（村井さん）